

社協会員にご加入ありがとうございました

当協議会の事業や活動に多くの皆さまが賛同していただき、令和5年度社協会員に加入していただきました。皆さまにご協力いただいた会費は、地域福祉活動の貴重な財源として活用させていただきます。

期間	一般会員	特別会員	金額
2/1～2/29	-	3人	6,000円

●ご加入くださいました方は下記のとおりです。(順不同・敬称略)

飯島 正憲	大河原 サタ	林 郁春
-------	--------	------

温かいご支援ありがとうございます。善意のひろば 令和6年2月1日～令和6年2月29日

喪主名	故人名	行政区
林 光政 様	林 定繁 様	上本町
遠藤 浩昭 様	遠藤 由子 様	仲 町
佐藤 勝夫 様	佐藤 美代子 様	毛 萱
齋藤 眞一 様	齋藤 伊都子 様	王 塚
遠藤 和雄 様	遠藤 キヨ子 様	仲 町
田中 隆一 様	田中 隆 様	本 町
匿名 1件		

食料品・日用品 宗教法人 地藏院 様
匿名 6件

義援金受付	団体名
令和6年 能登半島地震 災害義援金	富岡町老人クラブ連合会 いわき地区広域自治会さくらの会

～Cha畑やってみ隊会員募集のご案内～

富岡町内のふれあい農園で、一緒に野菜づくりを行って頂ける方を募集します。青空の下、会員のみなさんと気持ちいい汗をかいてみては如何でしょうか？

富岡町内にお住いの方は、車での送迎を致します。

富岡町ふれあい農園で参加されたみなさんと協力し合い笑顔が多い楽しい活動となりますので、ご連絡をお待ちしております。

活動予定

- 月1～2回ふれあい農園での活動
- カゴメ株式会社様から提供品(トマト・ナス等)の苗植え
- 野菜苗植え等講習会(富岡町主催)【年3回】
- 富岡町内の農園での苗植え・収穫実習【年2回】
- 富岡町放課後児童クラブの児童との交流(苗植え・収穫等)

年会費 1,000円(苗・お茶代等)

連絡先 0240-22-5522 [担当: 迫・深谷]

赤い羽根共同募金 インターネット寄付もできます

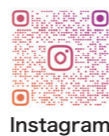
「赤い羽根 インターネット寄付システム」を利用することで、クレジットカード決済やコンビニ決済による寄付ができます。ご利用方法については、「インターネット寄付システム ご利用ガイド」をご参照ください。QRコードから、富岡町共同募金委員会を指定して寄付することができます。ご協力をお願いいたします。



社会福祉法人 富岡町社会福祉協議会

住所 〒979-1112 福島県双葉郡富岡町中央1丁目8-1 富岡町総合福祉センター内
MAIL tomi-181@tomioka-shakyo.or.jp
URL https://tomioka-shakyo.or.jp/
TEL 0240-22-5522 FAX 0240-22-4870

「笑～る」の発行には、台湾友好基金及び皆様から寄せられた社協会費、寄付金等を活用しています。



富岡町
社協だより

えみ
笑～る

236号
2024年4月4日発行
発行
社会福祉法人
富岡町社会福祉協議会

川内村住民と富岡町住民とのひな祭り交流会

3月1日、ゆうゆう倶楽部にて川内村社協、富岡町社協との合同サロンひな祭り交流会を開催しました。川内村でつくられているいちごを使用し「いちご大福づくり」を行いました。白玉粉で生地をつくり、あんを包む作業では皆さん手際よく成形し、最後に大福に切り込みを入れ、いちごを挟むと可愛い「いちご大福」の完成です。

いちご大福を試食しながらの茶話会では、富岡住民の参加者の中には川内村出身の方や知り合いがいる方などおり、参加された川内村住民の方々と会話も弾まれ楽しい時間となりました。

今回の交流会は、川内村・富岡町の避難者地域支援コーディネーターが連携し、町村の枠を超えた交流を企画しました。今後も地域間交流によって、近隣住民のみなさまがお互いにつながりを持てるよう、合同サロンを開催していく予定です。



救急法講習で万が一の備えを

2月14日、富岡町赤十字奉仕団では、講師に日本赤十字社福島県支部より指導員の工藤様をお招きし、「救急法について」学びました。

講習では、心肺蘇生法の手順やAEDの仕組み、操作方法だけでなく実際に扱う際の注意点等を、実践をまじえて学びました。いざという時に冷静に判断するのはとても難しいですが、心肺蘇生法は、周りの協力を得て行うことで生存率をあげるのに有効であるとの話もありました。

参加者からは、AED操作や年齢に応じた対応まで様々な質疑が上がり、有意義な講習となりました。



■ありがとうございました～みんなの畑 閉園～

平成27年、避難先のいわき市でスタートした「みんなの畑」が、令和6年3月をもって閉園となりました。NPO法人ザ・ピープル様や地主の方のご協力のもと、9年間にわたり活動させていただき、避難先で土に触れる機会、富岡町民だけでなく地元の方々との交流の場として大切な場所となっていました。震災から13年が経過し、参加していただいていた方々が自分の居場所を見つけ、それぞれ活動されるようになったことから、集いの場である「みんなの畑」としての役割は終わられたかなとのお言葉がザ・ピープル様よりありました。慣れ親しんだ畑の閉園は寂しい気持ちもありますが、長い間ご協力をいただき本当にありがとうございました。



みんなの畑(2015)スタート



(2016)綿の収穫



(2017)夏祭り



(2017)夏祭り



(2018)味噌作り



(2019)富岡での交流会



(2020)作業後の休憩



(2021)除草作業



(2022)野菜の収穫



みんなの畑(2023)苗植え

■笑いで元気に! 寄席を楽しむ

2月9日、町いわき地区多目的集会施設にてちょこっとカフェを開催しました。

今回は、アマチュア落語家の山椒家小粒さんをお招きして古典落語「時そば」と紙切り芸の「つがいの鶴」「とみっぴー」を披露していただき、笑顔の絶えない寄席となりました。



■一般介護予防事業 わくわく笑和サークルバス遠足

2月16日、わくわく笑和サークルでは、茨城県にバス遠足に行ってきました。

最初に訪れた那珂湊おさかな市場では、昼食で新鮮な海の幸を堪能し、食後は市場でお買い物。続いて訪れたアクアワールド茨城県大洗水族館では、マンボウなど珍しい魚やイルカやペンギンを鑑賞して楽しみました。

今回の遠足は、県外に足を延ばして会員同士の交流を深めつつ、普段体験できない楽しみや刺激を受けていただける機会になりました。



■押絵のショルダーバッグづくり

2月9日、大槻ふれあいセンターで出前カフェ～はま風「押絵 ショルダーバッグ」づくりを開催しました。

今回は制作キットを使用し、相談員が講師となるワークショップ形式で行いました。普段から手芸に慣れている方が多く、細かな花の模様も談笑しながら手際よく制作されていました。帰りには肩から下げて帰る方もおり満足そうな表情が見られました。



■一般介護予防事業 おだがいさま倶楽部 ミニ運動会

2月15日、おだがいさま倶楽部で、ミニ運動会を行いました。

体を動かすことで、身体機能の向上を図るだけでなく、競い合う気持ちやハラハラする気持ち、達成感の共有などは脳にとって良い刺激になり、介護予防に効果があります。

各種目では、リーダー中心に戦略を立て、仲間同士で協力し合いながら行っていました。競技の最後には、「楽しかった」「スッキリした」との声が上がり非常に盛り上がりました。



■一般介護予防事業 笑顔しゃんしゃん教室 記念写真撮影会

2月21日、笑顔しゃんしゃん教室では、今年1年間の記念として「写真撮影会」を行いました。カメラマンとして撮影に応じてくださったのは、町内在住の藤田一氏です。機材が揃った立派な撮影会場では、藤田氏が緊張気味の参加者に優しく声をかけ、笑顔を誘いながらここ一番のポーズを撮影しました。

この記念撮影会は毎年行っており、今回も写真の出来上がりを楽しみにされているとの会話がよく聞かれました。



■福祉用具の説明と体験をしました

2月28日、第4回「介護する家族の集い」ではファミリーケアの阿部悟氏を講師としてお迎えし「福祉用具の説明と体験」を行いました。

在宅での介護の際に使用できる使いやすく工夫された食器などを実際に手に取り、力が弱くなくても持てるものを体験しながら便利なものがあることに感心されていました。その後、栄養補助食品やとろみ調整食品の試食を行い、参加者からは「食べやすい」や「この量で100キロカロリーもあるの～」など興味を持ちながら試食される姿が見られました。

参加された皆さまは、様々な福祉用具の体験を行い、その人に応じた福祉用具を選ぶことの大切さを実感しました。

